



令和5年8月29日

東京都千代田区四番町5番地3

科学技術振興機構（JST）

Tel : 03-5214-8404（広報課）

URL <https://www.jst.go.jp>

大学発新産業創出基金事業における令和5年度提案の募集について （「ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム」および 「スタートアップ・エコシステム共創プログラム」）

JST（理事長 橋本 和仁）は、大学発新産業創出基金事業における令和5年度提案の募集を令和5年8月29日（火）から開始します。

大学発新産業創出基金事業は、大学等発スタートアップ創出力の強化に向けて、研究開発成果の事業化や海外での事業展開の可能性を検証するとともに、地域の中核となる大学等を中心とした産学官共創による大学等発スタートアップ創出などを支援する環境の形成を推進します。今回は、新たに「ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム」および「スタートアップ・エコシステム共創プログラム」の2つのプログラムを設定し募集を行います。

「ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム」は、大学等発の技術シーズを核にして、社会・経済に大きなインパクトを生み、国際展開を含め大きく事業成長するポテンシャルのあるディープテック・スタートアップの創出を目的とします。この目的を達成するため、技術シーズの事業開発に責任を有する事業化推進機関および研究開発に責任を有する研究代表者が共同代表者となり、事業化推進機関のプロジェクトマネジメントのもとに事業化マイルストーンおよび研究開発マイルストーンを設定し、両者が一体的に課題を推進します。

「スタートアップ・エコシステム共創プログラム」は、大学等発スタートアップの創出にポテンシャルのあるシーズを全国から引き出し、国際市場への展開を含め、大学等発スタートアップの創出に向けた取り組みについて質量共に充実させ、大学等発スタートアップの継続的な創出を支える、人材・知・資金が循環するエコシステムの形成を目指します。

＜募集期間＞

【ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム】

令和5年8月29日（火）～11月30日（木）正午

【スタートアップ・エコシステム共創プログラム】

令和5年8月29日（火）～10月26日（木）正午

提案募集の詳細については、別紙および下記ホームページを参照してください。

URL : <https://www.jst.go.jp/program/startupkikin/>

文科省が定めた「大学発新産業創出基金運用の基本的枠組み」

URL : https://www.mext.go.jp/content/20230802-mxt_sanchi01-02343.pdf

大学発新産業創出基金事業の基本方針

URL : <https://www.jst.go.jp/program/startupkikin/common/pdf/kikin-policy.pdf>

＜添付資料＞

別紙：大学発新産業創出基金事業における令和5年度の募集（「ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム」および「スタートアップ・エコシステム共創プログラム」）の概要

＜お問い合わせ先＞

科学技術振興機構 スタートアップ・技術移転推進部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's五番町

【ディープテック・スタートアップ国際展開プログラムに関すること】

森田 浩（モリタ ヒロシ）

E-mail : start-boshu[at]jst.go.jp

【スタートアップ・エコシステム共創プログラムに関すること】

金山 晋司（カナヤマ シンジ）

E-mail : su-ecosys[at]jst.go.jp

※お問い合わせは電子メールでお願いします。

**大学発新産業創出基金事業における令和5年度の募集
（「ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム」および
「スタートアップ・エコシステム共創プログラム」）の概要**

1. 大学発新産業創出基金事業の趣旨

大学発新産業創出基金事業は、スタートアップ育成5か年計画（令和4年11月政府発表）などを踏まえ、日本における大学等発スタートアップ創出力の強化に向けて、研究開発成果の事業化や海外での事業展開の可能性検証を視野に入れた研究開発を推進するとともに、地域の中核となる大学等を中心とした産学官共創による大学等発スタートアップ創出支援などの実施を可能とする環境の形成を推進します。

2. 「ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム」について

（1） 概要

「ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム」は、大学等発の技術シーズを核にして、社会・経済に大きなインパクトを生み、国際展開を含め大きく事業成長するポテンシャルを有するディープテック・スタートアップの創出を目的とします。当該目的を達成するため、技術シーズの事業開発に責任を有する事業化推進機関および研究開発に責任を有する研究代表者が共同代表者となり、事業化推進機関のプロジェクトマネジメントのもとに事業化マイルストーンおよび研究開発マイルストーンを設定し、事業化推進機関と研究代表者が一体的に課題を推進します。

（2） 研究開発期間

最長3年程度（令和8年度末まで）

（3） 研究開発費（研究開発期間内総額、直接経費）

原則3億円程度まで

（正当な理由がある場合、上限5億円の申請を可能とします）

（4） その他

本プログラムは今後も公募を予定しております。そのため、事業化推進機関と研究代表者との連携体制構築について、継続的にご検討をお願いいたします。

3. 「スタートアップ・エコシステム共創プログラム」について

（1） 概要

「スタートアップ・エコシステム共創プログラム」では、大学等発スタートアップの創出にポテンシャルのあるシーズを全国から引き出し、国際市場への展開を含め、大学等発スタートアップの創出に向けた取り組みについて質量共に充実させるとともに、大学等発スタートアップの継続的な創出を支える、人材・知・資金が循環するエコシステムの形成を目指します。なお、公募対象は大学等の研究機関を中心としたプラットフォーム（※）であり、研究者個人を対象としません。

【拠点都市プラットフォーム共創支援】

「研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム（START） スタートアップ・エコシステム形成支援」を実施しているプラットフォームを対象とします。

【地域プラットフォーム共創支援】

「START スタートアップ・エコシステム形成支援」での支援を受けていない地域の大学等を主幹機関としたプラットフォームを対象とします。

詳細な要件については必ず公募要領・Q&Aを確認してください。

(※) プラットフォーム：主幹機関（大学等）を中心に複数機関で構成される本プログラムの推進共同体。

(2) 支援期間

支援開始日から令和9年度末まで

ただし、個別の研究開発課題の新規採択は令和9年度までとし、個別の研究開発課題およびそれに付随する活動は、採択年度を含めて最長3ヵ年度程度可能（最長令和11年度末まで）

(3) 支援額

各プラットフォームで必要額を申請

4. 募集締切

【ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム】

令和5年11月30日（木）正午

【スタートアップ・エコシステム共創プログラム】

令和5年10月26日（木）正午

5. 提案の応募方法

応募は府省共通研究開発管理システム（e-Rad）により受け付けます。

e-RadポータルサイトURL：<https://www.e-rad.go.jp/>

※ディープテック・スタートアップ国際展開プログラムにおいては、電子メールで提出が必要な書類もあります。詳細は公募要領をご参照ください。

6. 提案募集に関するお問い合わせ先

科学技術振興機構 スタートアップ・技術移転推進部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's五番町

【ディープテック・スタートアップ国際展開プログラムに関すること】

森田 浩（モリタ ヒロシ）

E-mail：start-boshu[at]jst.go.jp

【スタートアップ・エコシステム共創プログラムに関すること】

金山 晋司（カナヤマ シンジ）

E-mail：su-ecosys[at]jst.go.jp

※お問い合わせは電子メールでお願いします。

以上